

月刊 ゆがの通信

2026年10月号

発行：ゆがの薬局

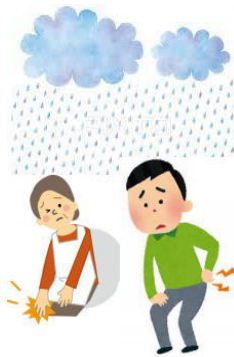
長雨が原因の坐骨神経痛が増えています さらに悪化する前に「独活寄生丸」

異常な長雨で坐骨神経痛に

今年の九月は秋雨前線が本州上で長く停滞したこと例年になく台風が発生件数が多かったために秋雨前線が刺激され、日本の各地で異常な長雨と大雨が発生しました。東京では三十四日間連続雨天となり日照時間も例年になく短くなっています。

このような長雨は人間の身体にも影響をあたえます。片頭痛やめまい、首や肩の凝り、倦怠感や疲労感が回復しないなどで「気象病」と呼ばれる症状が発生します。

今年の長雨の場合は坐骨神経痛のご相談がとも増えました。坐骨神経痛は腰痛から始まることが多く、お尻・太ももの後ろ・すねなどに鋭い痛みやしびれなどを感じます。



坐骨神経痛は若い方の場合には腰痛椎間板ヘルニアが、高齢者の場合は脊柱管狭窄症が原因となつて、坐骨神経を圧迫して痛みを起していると考えられています。また、坐骨神経痛がそれらの

病気の発端となることも多いので放置はとも危険です。今年の長雨は本当にずっと雨が降っており異常なほどの湿度でした。梅雨ときのような湿度が坐骨神経痛の原因となっていると考えられます。

腎に力をつけて「邪」を防ぎ 筋骨を強化

その訳は、漢方での「邪（じゃ）」とは体にとって有害なもの、病気の要因となるものを指しますが、寒さのことを「寒邪（かんじゃ）」、湿気のことを「湿邪（しつじゃ）」といい、今回の場合、湿邪が関節や筋肉の間に入り込むことで体にしびれが生じて痛みにつながると考えています。

湿邪が入り込むのは気血（きけつ）エネルギーや栄養のことが不足して筋肉や骨の養分が足りないからなのですが、さらにその根本に「腎（じん）」の衰えがあります。腎は人間の成長、発育、生殖を主な働きとして生命活動に必要なエネルギー（腎気）を体内に巡らせています。骨の発育や維持、背筋や腰、下半身の筋肉にその働きは及んでいます。腎は加齢とともに衰えてしまい、徐々に栄養分が体内で不足するようになります。つまり、先ほどの湿邪による痛みは腎の衰えによる気血の不足が原因といえるので

腎に力をつけて、守りを丈夫にし、湿邪が入り込まないようにするために当店でおすすめているのが「独活寄生丸（どっかつきせいがん）」です。

独活寄生丸には老化を遅らせ、骨や筋肉・靱帯・腱を丈夫にする桑寄生（ソウキセイ）杜仲（トチュウ）を中心とした体内の湿気を除き下肢の重だるさや痛みを楽にする独活（ドツカツ）、防風（ボウフウ）秦艽（シンギョウ）、筋肉に栄養物質を与え血行を良くする当归（トウキ）芍薬（シャクヤク）川芎（センキュウ）など一六種類の生薬を配合しており、腎を補い、体の内部から足腰を丈夫にする手伝いをします。独活寄生丸は痛みに対して即効性に優れていることもおすすめる理由です。この即効性が古来から脚や腰の痛みやしびれに対して一番最初に使われてきている理由なのです。

・漢方療法推進会

「独活寄生丸」（第二类医薬品）

六〇包入り（一か月分）

八、〇〇〇円＋税



「独活寄生丸」についての相談は店頭だけでなくお電話でも受け付けています。お気軽にご相談ください。



「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

1ヶ月分 7,600円（税別）